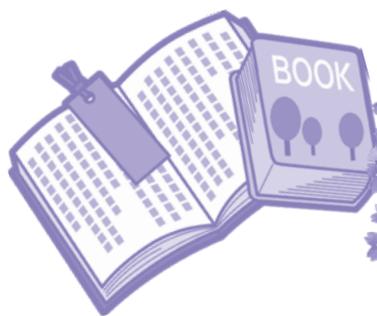


今どきの読書



私たちの生活はたくさんの文字に囲まれています。小中学生の「読書離れ」「活字離れ」と考えられます。メールやSNSで文書を書く機会が増えてはいるのですが、大人の世界でも

疑似体験ができ夢を育む読書により得られるもの

表現の面白さ、物語の背景（時代、地域）の理解
考える・感じる・あらわすことができる力
豊かな情操の育成
生きる上での価値観の醸成



- * 仕事ができる人は読書家が多いと言われています。
- * 読書により色々な言葉に触れ、書くことやコミュニケーション能力が上がります。

書くことの重要性

上手下手関係なく、まずは起こったことや気持ちを数行の文字に表すことから始めましょう。
人の書いたものを読むことにより人間力が付きます。



- * 小学校の6割が作文を苦手になっています。（どらゼミ調査による）

コミュニケーション

自分の思いを正確に表現できる力や想像力を！
SNSなどのフレンドリーなものばかりでなく、時には丁寧な表現力も！
主に「かわいい」「まじで」「やばい」「あざっす」などだけの会話を卒業？
（場に応じた言葉づかいを）
「頑張って」「ご苦労様でした」「なおざり」「おざなり」などなど注意



女性誌？女性作家？

多種多様な雑誌。1980年ころまでは、女性の本は婦人誌（のちに女性誌）というジャンルがあり、内容も男性誌や週刊誌とすみわけが。ここで気になるのは「女性誌」という呼びかたで、今も続いています。こんなところにも男女差異が伺えます。
また以前は女性作家が少なく、書店の文学コーナーの片隅に著作が並んでいました。現在は幅広い年代の女性作家の活躍により、メインコーナーには私達をひきつける力作が置かれています。



今はなんでも手軽にできる時代です。スマートフォンなどで読書をするのもいいと思いますが、「本」を古今東西の名著、時には漫画本、読書に浸るとき、あなたは自由です。まずは知人から勧められた一冊、
て男女差をも超えて羽ばたけるでしょう。

